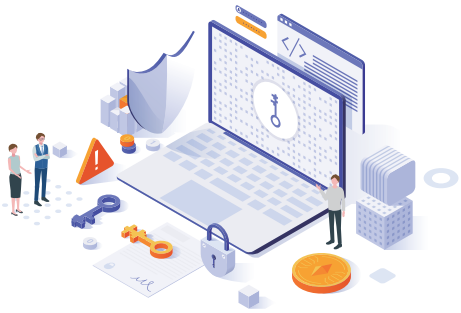
CHECK POINT™ HYBRID MESH NETWORK SECURITY

CHECK POINT SASE

-Private Access-

フルメッシュネットワークVPNを
もっと便利に。つかいやすく。



従来のVPNの課題を解決し、ゼロトラストネットワークアクセスを
提供する製品です。あらゆるユーザー、サイトを包括する
フルメッシュネットワークを実現することで、VPNの脆弱性をカバーできます。

従来のVPNが抱える問題点

現代の多様な働き方とクラウド環境において、VPNの活用抜きには語れませんが、
同時にVPNの構造上のセキュリティリスクを抱えやすいことが問題視されています。

ゲートウェイに依存する構成

現在設計されているVPNの多くは集中型の構成です。すべてのトラフィックがVPNゲートウェイを
経由する構成となるため、データ量の増加や機器の不具合などのトラブルに弱いという課題があります。

広範なアクセス権

一度VPNに接続すると、社内ネットワーク全体へのアクセス権が付与されます。
権限が過剰になり、一度攻撃が成功するとネットワーク内を自由に横断されてしまうリスクがあります。

Check Point SASE Private Access の特長

POINT 01

ID管理に基づいたアクセス制御



ユーザーのIDとデバイスの状態に基づき、
きめ細かなアクセス制御を実行します。

POINT 02

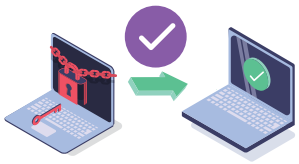
包括的なセキュリティ機能



必要なリソースに限定したアクセス許可
により、不正アクセスやデータ漏洩の
リスクを低減することができます。

POINT 03

セキュリティの大幅な強化



ポスチャーチェック、マルウェア保護を
はじめとしたセキュリティに
関する機能を複数搭載しています。

Check Point SASE Private Access ご利用メリットとイメージ

場所を問わないアクセス

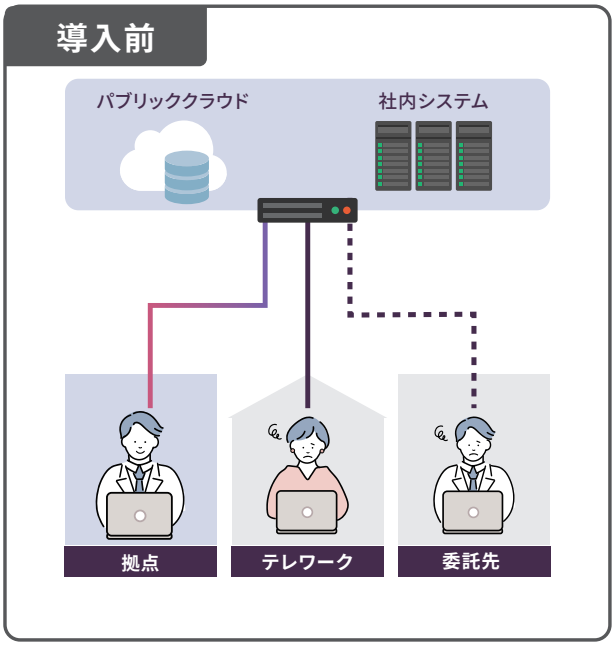
最適化された経路と分散処理により、クラウドアプリへのアクセスもスムーズです。遅延が少なく、快適な作業環境を提供します。

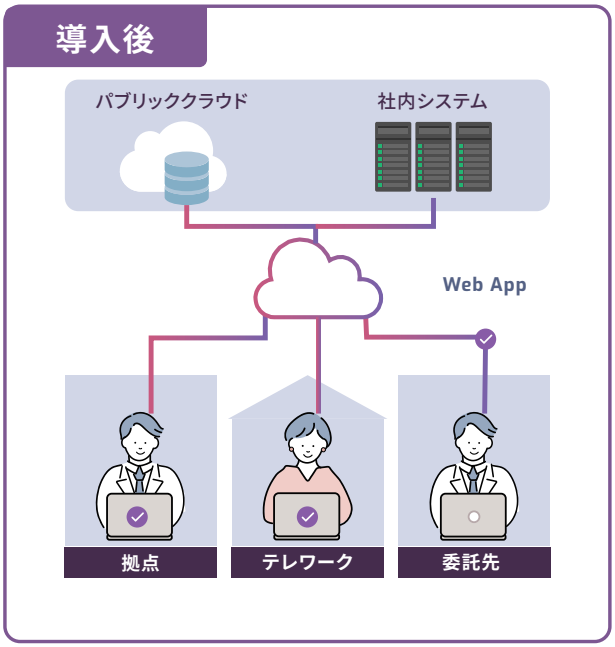
パフォーマンスと生産性の向上

フルメッシュネットワークによりリモートワーク、多拠点展開など、あらゆる場所からの安全な接続を可能にします。
従来の VPN のような集中点を通る必要がなく、どこからでもセキュアで高速なアクセスを実現します。

運用負荷とコストの削減

ハードウェア管理が不要で、クラウドからの集中管理で IT 部門の負担を軽減します。クラウドであるためユーザー数や拠点の増加にも迅速かつコスト効率良く対応できます。





- 業務に必要な情報へのアクセスはできる限り制限したいが、現実的には難しい…
- 脆弱性のある端末が社内ネットワークへの脅威の侵入経路にならないか心配…
- ネットワークの変更やユーザーの追加に手間も時間もかけたくない…

- 必要な範囲できめ細やかにアクセスの制御が可能！
- 社内ネットワークへの接続前に、社内セキュリティ要件を満たしているかどうかをチェック！
- フルメッシュによるVPN環境を迅速かつ簡単に構築できる！

お問い合わせはこちら

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または商品登録です。このパンフレットの内容は改良のために予告無しに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。 © 2026 宝情報 Ver1.0.0